

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当 時間数
				職種	役職	氏名	
芸術論	1	1	前期	華道家 元公立学校教員	小原流津山支部参与 ／	非常勤講師(華道) 非常勤講師(音楽)	16 14
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)							
該当する ○ 該当しない				講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%			
評価 方法	実技試験			教科書・ 参考資料	いけばなの基本(小原流研究院編) 音楽(学内資料)		
概要	gakunai						
目標	(華道)生け花の基本を理解できる。 (音楽)歌うことで自己の感性を表現できる。						
回数	授業内容・計画						
	16H 『生け花の基本形』						
1・2	・花意匠 基本 たてるかたち						
3・4	・花意匠 基本 かたむけるかたち						
5・6	・花意匠 展開 ひらくかたち						
7	・秋桜祭 展示花						
8	・バスケットフラワー						
	14H						
9・10・11	・合唱 校歌 その他						
12・13	・合唱 ナイチンゲール賛歌 その他						
14・15	・合唱 クリスマスソング その他						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当時間数
				職種	役職	氏名	
生物学	1	1	前期	大学教員	美作大学 講師	非常勤講師	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する <input type="radio"/> 該当しない <input checked="" type="radio"/>				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価方法	筆記試験			教科書・参考資料	生物学(医学書院)		
概要	細胞の精密な構造や細胞を構成する原形質の科学的性状等、生物が生きていることのメカニズムが自然科学の面からどのように解明されているかを学ぶ。						
目標	生命の営みを理解することができる。 生とは何か、死とは何か、真剣に考えることができる。						
回数	授業内容・計画						
1	生物学を学ぶにあたって			物学における講義内容の説明など			
2	生命体のつくりと働き			生物学における構造と機能、細胞とその構造、細胞の化学組成など			
3	生命維持のエネルギー			生体内の化学反応、ATPの生合成			
4	細胞の増殖とからだのなりたち			細胞分裂、細胞の分化とからだのなりたち、細胞の老化			
5	遺伝情報とその伝達・発達の仕組み I			遺伝の法則と染色体、DNAの複製、RNAの合成、タンパク質の合成など			
6	遺伝情報とその伝達・発達の仕組み II			ヒトの遺伝、先天性異常など			
7	生殖と発生			無性生殖と有性生殖、動物の受精と発生、哺乳類の発生			
8	個体の調節 I			ホメオスタシス、各器官の働き			
9	個体の調節 II			神経性相関、液性相関など			
10	刺激の受容と行動 I			神経系における情報処理の特徴、環境の情報とその受容、神経系の情報伝達			
11	刺激の受容と行動 II			神経系の系統的発達、効果器のはたらき、行動			
12	生命の進化と多様性			生物の多様化と絶滅の歴史、ヒトの起源と進化など			
13	生物と環境の関わり			生物の集団、動物の社会など			
14	地球環境とヒトとの共存			人間活動による環境への影響、生物多様性の保全			
15	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当 時間数
				職種	役職	氏名	
英語 I (医療・看護のための英会話)	1	1	後期	高等専門学校 教員	津山工業高等専門 学校 准教授	非常勤講師	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する <input type="radio"/> 該当しない <input checked="" type="radio"/>				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価 方法	筆記試験			教科書・ 参考資料	授業ごとに指示		
概要	一般的な英語の文法や語彙を学び、英語を話す基礎を養う。						
目標	日常の簡単な英語を聞き取ることや、簡単な発話ができるようになる。						
回数	授業内容・計画						
1	ガイダンス						
2	Unit1:be動詞						
3	Unit2:可算名詞・不可算名詞						
4	Unit3:一般動詞(現在時制)						
5	Unit4:代名詞						
6	Unit5:一般動詞(過去時制)						
7	Unit6:進行形						
8	Unit7:will / be going to						
9	Unit8:助動詞						
10	Unit9:前置詞						
11	Unit10:現在完了						
12	Unit11:比較						
13	Unit12:WH疑問文						
14	復習						
15	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当 時間数
				職種	役職	氏名	
英語Ⅱ (臨床英語)	1	2	前期	大学教員	美作大学 教授	非常勤講師	30
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する ○ 該当しない				講義形式(100)% ・ 実習など講義形式以外()%			
評価 方法	筆記試験			教科書・ 参考資料	Medical English Clinic (センゲージラーニング株式会社)		
概要	医療に関する専門用語を学ぶとともに活用方法をマスターし、英語で患者と対話したり、医療情報や医療文献を読解したりできる能力を養う。						
目標	診療に使用する専門用語の英語表現がわかる 医療現場において基本的な対応が英語でできる						
回数	授業内容・計画						
1	Chapter 1	First Visit 初診&問診表					
2	Chapter 2	At the Examination Room 診察室での基本会話&ノロウイルス					
3	Chapter 3	Flu Symptoms インフルエンザの症状&タミフル					
4	Chapter 4	Pain Problems 痛みへの対処&BSE(狂牛病)					
5	Chapter 5	Stomachache 胃痛&摂食障害					
6	Chapter 6	Abdominal Pain 腰痛&ホルモン攪乱物質					
7	Review Test 1	Chapter 1~6の学習理解の確認と復習					
8	Chapter 7	Urinalysis 尿検査&市販薬					
9	Chapter 8	Cholesterol コレステロール&メタボリック症候群					
10	Chapter 9	Anemia 貧血&バランスのとれた食事					
11	Chapter 10	Injury 怪我&ウォーキングの効能					
12	Chapter 11	Operation Period 手術の準備&入院手順					
13	Chapter 12	Alcohol Poisoning アルコール中毒					
14	Chapter 13	Ultrasound Examination 超音波検査					
15	まとめ 終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当 時間数
				職種	役職	氏名	
論理学	1	1	前期	元公立学校 教員	津山東高等学校 非常勤講師	非常勤講師	15
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する ○ 該当しない				講義形式(50)% ・ 実習など講義形式以外(50)%			
評価 方法	提出課題と試験による総合評価			教科書・ 参考資料	自作講義プリント		
概要	論理的な文章を書くことにより、論理的思考法を身につけることができる。論理的な文章とはどのような文章か。それは第三者に自らの思考の過程を正確に理解してもらふスキルの習得と並行して身につくべきものである。思考の過程・流れを正確にたどるためのスキルとしての文章術をブラッシュアップする。						
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考力を身につける。 ・他者に伝わる表現力を身につける。 						
回数	授業内容・計画						
1	オリエンテーション ～論理学で目指すもの～			演習①			
2	論理とは何か① ～文と文の関係～			演習②			
3	論理とは何か② ～言葉の多義性・曖昧性～			演習③			
4	わかりやすい文章とは何か ～正確に伝わる文章～			演習④			
5	わかりやすい文章を書くために ～メモと文章構成～			演習⑤			
6	わかりやすい文章を書くために ～事実と考えの区別と根拠の正しさ～			演習⑥			
7	論理的に表現するとはどういうことか ～論理学から見えてくること～			演習⑦			
8	終講試験						
留意事項							

授業科目	単位数	学年	期間	担当講師			担当 時間数
				職種	役職	氏名	
保健体育	1	1	前期	元公立学校 教員	/	非常勤講師	15
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)				授業形態(全授業時間に対する割合)			
該当する ○ 該当しない				講義形式(10)% ・ 実習など講義形式以外(90)%			
評価 方法	実技評価			教科書・ 参考資料	なし		
概要	<p>体育理論を学び、健全な心身の育成をはかるとともに人間関係を円滑にし協調性を養う。 人権の重要性を基盤とし、”今、ここで”関わる体験を通して、カウンセリング技術を身につけ、援助的關係、治療的關係、信頼 關係の形成・障害要因・継続要因について理解する。</p>						
目標	<p>健全な心身の育成をはかる 1. 人権意識の普及、高揚をはかることができる 2. 人間關係の基礎はコミュニケーションであることが理解できる</p>						
回数	授業内容・計画						
1	バレーボール						
2	卓球						
3	・人権とは						
4	・コミュニケーションとは						
5	倒立、側転、前屈						
6	脚力、ドッチボール						
7	バレーボール						
8	実技試験						
留意事項							